



保健師だより

あなたの健康支えます!!

高齢者インフルエンザ予防接種はお済みですか?

寒さが厳しくなり、体調を崩しやすい時季になりました。町では、下記のとおり高齢者インフルエンザ予防接種の助成を行っています。予防と対策を万全に、冬を健康的に乗り切りましょう!

助成期間: 12月30日(水)まで
自己負担: 1,000円
助成対象: 接種日に町に住居登録があり満65歳以上の方
注意事項: 助成は、期間中に一人につき1回のみとなります

★インフルエンザの予防方法★

- ①外出後の手洗い: インフルエンザはアルコール消毒も有効です。
- ②咳エチケット: インフルエンザは感染している人の咳やくしゃみでうつることが大半です。ウイルスから自分を守るため、また、咳が出るときは周りの人にうつさないためにマスクを使用するよう心がけましょう。
- ③適度な湿度の保持: 空気が乾燥すると、鼻やのどの粘膜も乾燥してインフルエンザにかかりやすくなります。加湿器などを活用し、50～60%の湿度維持も予防のために有効です。
- ④十分な休養とバランスのとれた栄養摂取: 体が持っている免疫力を高めるために、日頃から休養とバランスのとれた栄養摂取を心がけましょう。
- ⑤流行前のワクチン接種: インフルエンザワクチンは、感染後に発病する可能性を低くすることと、かかった場合の重症化予防に効果があると言われています。

予防接種に関する大切なお知らせ

平成25年3月31日(平成24年度中)までに、市町村の助成により「ヒトパピローマウイルスワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)」・「ヒブワクチン」・「小児用肺炎球菌ワクチン」のいずれかを接種した方のうち、接種後に何らかの症状が生じたことにより医療機関を受診した方は、接種との関連性が認定されると、医療費・医療手当が支給される場合があります。お心当たりのある方は、具体的な請求方法等について、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の救済制度相談窓口(フリーダイヤル: 0120-149-931 受付時間: 祝日・年末年始を除く月曜日から金曜日 9:00～17:00)へお問い合わせください。なお、フリーダイヤルがご利用になれない場合は03-3506-9411(有料)に至急お問い合わせください。

食品放射能測定結果について

10月に実施された食品放射能検査の結果は、表のとおりです。
 国の暫定基準値100ベクレル/kgを超える数値が検出された食品は0件です。なお、井戸水の検査実施はありませんでした。検査に出される際には、食材500グラムが必要となります。

食品名	件数	検出件数	食品名	件数	検出件数
小豆	1	0	じゃがいも	1	0
あぶら菜	2	0	食用菊	1	0
いなご(茹で)	1	0	大根菜	1	0
柿	3	0	つるむらさき	1	0
かぶ	1	0	なずな	1	0
キャベツ	1	0	にんじん	1	0
小松菜	1	0	はやとうり	1	0
ざくろ	1	0	ブロッコリー	1	0
さつまいも	2	0	ほうれん草	3	0
さといも	1	0	水菜	1	0
			合計	26	0

●問い合わせ先
 簡易放射能測定センター(勤労青少年ホーム内)
 ☎62-2444

母と子の保健事業

月日	事業名	場所	時間
12/9(水)	1歳6か月児健康診査	保健センター	13:15～
12/16(水)	3～4か月児健康診査	公立岩瀬病院	13:30～
1/8(金)	1・2歳児健康相談	保健センター	9:30～



スクールインフォメーション ～学校だより～

岩瀬農業高校が変わります!

岩瀬農業高校

岩瀬農業高校は時代の要請に応えるべく、次の6学科に生まれ変わります。

- 生物生産科(植物科学コース、動物科学コース)
- 園芸科学科(園芸生産コース、バイオコース)
- 食品科学科(食品製造コース、食品栄養コース)
- 環境工学科(農業土木コース、環境緑化コース)
- 【平成28年度より2学科誕生!】**
- ヒューマンサービス科(園芸デザインコース、園芸福祉コース)
- アグリビジネス科(食品流通コース、生産情報コース)

ヒューマンサービス科では、草花や野菜の栽培をとおり、園芸デザインや園芸を活用した福祉について学びます。アグリビジネス科では、農業の6次化に対応するため、農畜産物の生産から食品の加工・製造、そしてコンピュータを活用した流通について学びます。

現在の6学科のうち、園芸科学科のデザインコースの学習内容を充実・発展させたものが「ヒューマンサービス科」。生産情報科に栽培・加工の知識・技術の習得を加え学習内容を充実・発展させたものが「アグリビジネス科」になります。また、現在の生物工学科の学習内容は、園芸科学科で学習することになります。

以上のように、現在の学習内容を見直し、時代の進展に応えるべく新たな6学科に生まれ変わります。

※詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.iwase-ah.fks.ed.jp>

校訓「最善を尽くして」

鏡石中学校

- ◆福島民報杯争奪第28回福島県サッカー新人大会
11月8日(日)開催 県大会「ベスト8」
- ◆第25回福島県中学校ソフトテニス新人大会
11月15日(日)開催 県大会で「準優勝」男子団体
- ◆平成27年度県南中学生新人卓球大会
11月15日(日)開催 県大会で「第5位」男子団体
- ◆第35回全国中学生人権作文コンテスト福島県大会
優秀賞「勇気を持って」田代彩乃(2年)
奨励賞「家族の思い」阿部望花(2年)
- ◆平成27年度「税についての作文」
福島県中地方振興局長 面川沙羅(3年)
福島県納税貯蓄組合連合会長賞 村上真実(3年)
- ◆第53回中学生作文コンクール
都道府県別賞 有賀広夢(2年)
- ◆校内行事から
11月上旬に全校生「教育相談」を実施しました。
1・2年生は学校生活(生活・学習)について3年生は主に生活面と進路について担任と話し合いを行いました。3年生は受験モードに本格的に突入です。



戦時中の貴重な体験談に触れて

第一小学校

11月12日(水)5・6校時に6年生は社会科学習の一環として、学校応援団の方のご協力で、貴重な戦時中のことについて学習することができました。兵隊として戦争に参加した方や当時学生だった方のお話を聞き、当時の日本の日常生活や学校生活、思想について、教科書だけでは分からないことを知ることができました。「二度と戦争をしてはならない。平和な世の中を守っていくように、命を大切にしてください」という子どもたちへのメッセージは、大変な重みを感じたようです。

「[玉音放送]を聞いたときにどんなことを思いましたか?」という児童の質問に対して、「生きていていいんだ」という言葉が特に印象的でした。



真剣に話を聞く子どもたちの様子

「まきばっ子祭」が開催されました

第二小学校

11月14日(土)に「まきばっ子祭」が開催されました。「まきばっ子祭」は、総合的な学習の時間や生活科の学習の成果を発表するとともに、集団の中でそれぞれの児童が活躍する場を設定し、自己の存在感の高揚や望ましい人間関係を形成することをねらいとしています。

多数の来賓の皆様や、保護者・地域の方にご来校いただき、子どもたちののはつらつとした発表をご覧いただきました。

また、午後からPTA主催の「バザー」が行われ、たくさんの方々が訪れてくださいました。益金は子どもたちの活動に役立たいと考えています。

